

【粗い試算（令和5年2月）で見込んだ令和6年度収支不足額】

(A) **▲520億円**

【粗い試算からの変動（一般財源ベース）】

(B) **▲150億円** (ア) - (イ)

《 歳入 (ア) 》	+250億円	
	府税・譲与税	+580億円
	交付税等	▲330億円
《 歳出 (イ) 》	+400億円	
	人件費	+120億円
	一般施策経費等	+280億円

【令和6年度収支不足額の見込み】

(A)+(B)+今後の変動 = **▲670億円 ± α**
(今後の変動による)

⇒ 予算編成過程で再精査の上、財源対策を検討

※ 財政調整基金残高(R5未見込)：約2,030億円±α

《 参考 》 粗い試算からの変動を織り込んだ当面の財政見通し

	R7	R8	R9
粗い試算（令和5年2月）で見込んだ収支不足額	▲410	▲430	▲210
粗い試算からの変動（一般財源ベース）	▲200	▲220	▲210
収支不足額の見込み	▲610	▲650	▲420

★ 今後の主な変動要素

・府税収入の動向、令和6年度地方財政計画及び税制改正など国の措置

など